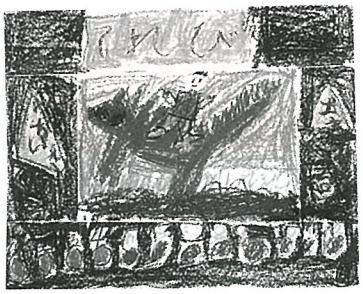
あつまれ みんなの 力作

1年
鈴木　裕太くん



『きょうりゅうとあそんだよ』

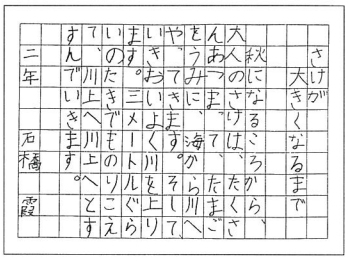
※テレビに出ているのは、きょうりゅうにのってあそんでいるぼくです。

『夏の音　ふうりん』

4年
椎名　美佳さん

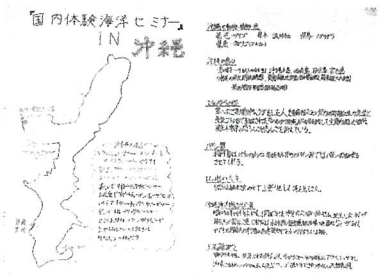
※音を出すぐきをぬる時に、色がはじいてしまって大変でした。

2年
石橋　霞さん



※金刀比羅神社の書道展に出す作品の練習をしています。私の一番よい作品です。

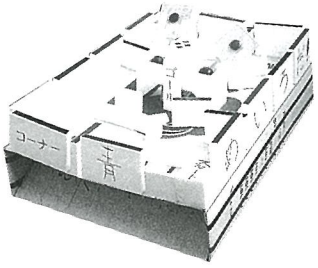
5年
川嶋　恵里さん



『沖縄体験セミナー』

※沖縄のことを調べて、まとめるところが、むずかしかったです。

3年
伊藤由宇司くん



『巨大迷路』

※磁石の力でボールが動くようにするのを工夫しました。みんなに大人気です。

6年
近藤　美幸さん

※私は習字が大好きです。この字も何回も練習して、上手にかけるようになりました。

ひかり俳壇

蜩や無縁あまたの石塔場　川島　孝夫（二又）

放置された無縁仏の石塔群。哀調を帯びた夕蜩の音は、恰も鎮魂歌のように降り注ぐ

子らかへりひそと残るや盆西瓜　秋山　一泉（柏田）

お盆に帰省した子供達一家が戻った後の寂寥感。盆西瓜に託した中七の措辞が巧い

芳一の空耳に触れ　夕蜩　布施　和代（二又）

澄み透る夕蜩の音に心洗わる作者の詩心に『耳なし芳一』の話が、ふっと過った

雲一だ海の果より秋兆す　伊藤　定男（尾垂）

蜩や神苑清く響きけり　大木　素風（二又）

かなかなや話のうまい旅商人　川島　通則（二又）

蜩や山峡の畑翳りおり　土屋　義昭（虫生）

短評　椎名しげる

評者吟　ひぐらしの山裾に在り広済寺